

令和3年度 学校だより



令和4年3月3日(木)

御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail: 3月号

[onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp](mailto:onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp)

## 『感謝の花』節に願うこと

毎年3学期は、第一小学校の『感謝の花』節です。感謝の気持ちはいつも持ち続けますが、特に自分自身の成長や仲間や学校の成長を認め合い、感謝の気持ちを表すことを学びます。毎年毎年同じように季節が巡り、この節はやってきますが、一年一年年を重ねるごとに子供たちの感じ方も気持ちの表し方も進化していきます。そこに子供たちの成長を感じます。だからこそ大切にしていきたいと考えています。

2月1日に開催した「青少年赤十字活動(JRC)」の表彰式で、6年生5クラスの子供たちを表彰しました。御T活動や委員会活動、みどりの少年団等、学校や地域みんなのために頑張る活動を積極的に行ったことへの表彰でした。その時に全校に向けて動画を見せるつもりが、ネットワークシステムがうまく作動せず、全員での視聴は叶いませんでしたが、各学級で子供たちに『life best』という動画を見せました。これはYouTubeの動画です。誰かにしてもらった親切が感謝の心を生み、また誰かのために思いやりの心を発揮する。そしてそれは幸せのつながりや渦となって広がっていく。こうした思いや願いが込められた動画であると考えます。視聴した子供たちがたくさんの感想を寄せてくれました。年齢やその子の価値観によって感じ方は様々ですが、感想を読んだ先生たちが皆同じ意味の言葉を発していることに、私は驚きと感動を覚えました。「校長先生、子供たちってすごいんです。あの動画からこんなに深く考えて、しかも自分やみんなのことや第一小の学校づくりのことまでつなげて考えているんです。親切と感謝の渦が自分事になっています。」  
「大人が子供から学ぶ」ことは、私たち第一小の教職員が大切にしてきたことの一つですが、まさにこれだ！と感じました。市授業改善アドバイザーの上智大学奈須正裕教授は常々「子供は有能な学習者である」と言われます。以下に子供たちの感想の一部を紹介します。



☆当たり前だけど、いいことや相手にとってうれしいことをすると笑顔になる。助けられた人はまた困っている人を助ける。そうするとみんな笑顔になる。これこそ、「自分から みんなで」だなあと思いました。4年栗林優さん

☆この動画のようにみんなが助け合った地域や学校にしていきたい。そして、これらのことが当たり前にできるいい学校にしていきたい。4年堀江優陽さん

☆これは助け合いのラリーだと思いました。自分がいいことをすると相手も喜んで、助けられた人も自分も何かしたいという気持ちになることがすごく素敵だなと思いました。第一小全校に広がるといいな。3年渥美咲季さん

☆一人がいいことをすると、みんながそれを見て広がって、世界がいい空気になる。第一小や世界がいい空気になったらうれしいです。3年佐久間蒼波さん

☆人は思いやりでつながっている。6年として思いやりの花をたくさん下級生に見せていきたい。6年村越凜さん